

標 題	益田地域で高まる水稲乾田直播栽培への期待 ～益田市飼料用米研究会の現地検討会を開催！！～
------------	---

(ダイジェスト)

5月25日(金)、益田市の集落営農組織9法人で構成される「益田市飼料用米研究会」は、飼料用米生産に係る省力低コスト化に向けた水稲乾田直播栽培の現地検討会を開催しました。法人の構成員の高齢化、担い手不足が共通の課題となる中、益田地域では水稲乾田直播栽培への期待が高まりをみせています。

市内の大規模畜産農家へ安定的に飼料供給する目的で平成30年1月に設立された「益田市飼料用米研究会」は、活動初年度の取組みとして、省力低コスト化に着目しました。当日は、昨年産から試験的に水稲乾田直播栽培に取り組んでいるT法人のほ場を会場に生産者27名、関係機関8名が集まり、播種作業などについて理解を深めました。飼料用米研究会以外の近隣の法人からの参加もあるなど省力低コスト化に向けた水稲乾田直播栽培への関心の高さが伺えました。



現地検討会の様子

益田地域では、平成30年産において水稲乾田直播栽培に5法人が取り組み、面積は約7haとなっており、今後も広がると考えられます。

普及部としては、市、JA、しまね農業振興公社(広域連携コーディネータ)と連携を図り、「益田市飼料用米研究会」の活動(①多収性品種の導入実証試験、②省力低コスト栽培の実証研究等)を支援するとともに、今後も本実証ほを活用した現地検討会を開催し、技術の確立・普及に努めます。



播種



除草剤散布

播種日：5/25 播種様式：条播 播種量：5kg/10a 施肥N成分量：12kg/10a